

教育広報

県北の教育

発行所

福島県教育庁県北教育事務所

福島市杉妻町5-75

電話 024-521-7723

発行者 村越秀樹

印刷所 (有) 吾妻印刷

『つなぎ・伸ばし・かなえる 県北の教育』



県北教育事務所長

村越秀樹

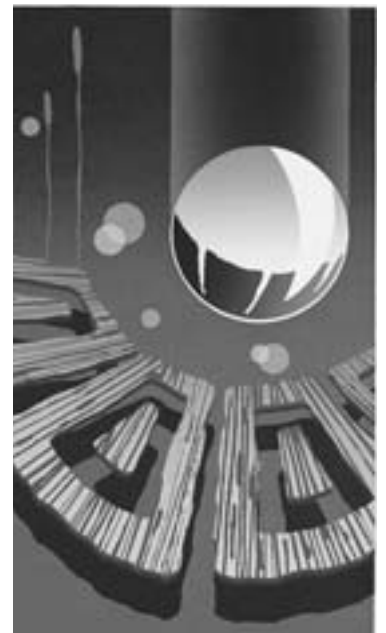
教育は国家・社会の形成者育成を担っております。今日は変革の時代、混迷の時代、国際競争の時代といわれ、21世紀を生き抜く心豊かでたくましい子どもの育成が求められております。

福島県においては、私立学校が少なく、公立学校が幼小中高の学校教育全般を担っている状況にあります。現在学校教育は、一人一人の能力に応じた確かな学力を育成しているか、規範意識の欠如やなくなる不登校にどう対応しているか、体力の低下、性の逸脱行為にどう立ち向かっているか等の課題解決の第一義的な責任と役割が求められております。そして、各学校はこれら課題と自校課題の解決に向けて、特色ある教育活動を展開し、積極的に取り組んでおります。

各校それぞれの取組から校種を超えた全学校の取組となれば、さらなる教育効果をあげることは必然であります。幼小中高のどの校種でも不易に取り組むべきことは何かを考え、共通に実践していくことが課題解決に迫り、実質的な連携につながると考えます。

「県北域内幼・小・中・高連携推進協議会」が全校長先生方の意見をまとめ、7月24日付けで「つなぎ・伸ばし・かなえる県北の教育」として、全ての学校で取り組みたい実践、連携事項を提案しました。連携事項は、どの校種にも求められる「知」「徳」「体」の教育理念から「学力」「人間性・社会性」「健康・安全」としました。さらに各項ごとに、学習習慣の育成、基本的生活習慣の育成、体力の向上等の具体的かつ不易な指導内容を設定しました。子ども一人一人が持つ能力や個性を幼小中高と途切れることなく、丁寧に育てていき、「県北の子どもたちの夢の実現」に意識的に取り組んでいく連携の提案であります。幼小中高の先生方一人一人が、子どもの能力を最大限に伸ばして夢をかなえとの思いを持って教育活動を展開することが諸課題の解決につながるものと考えます。

現在本県では、30人学級や30人程度学級等きめ細かな少人数教育体制を柱に、公立学校が一人の子どもを責任を持って育て上げる「ふくしまならではの教育改革」を推進しております。この「つなぎ・伸ばし・かなえる県北の教育」を県北から発信するとともに、確実な実践を通して県民の期待に応えたいと思います。各学校におかれましては、趣旨と連携事項を確認されて自校ならではの積極的な取組をお願いいたします。



伸びる能力を引き出すための授業づくり



どの子どもも伸びる能力を持っています。それを引き出すためには、教師の“基礎的な指導力”が大きく関わっています。特に、『発問』は個や集団の思考活動を高めるために重要です。また、『習熟の程度をふまえた指導』は、学習の進み具合に応じた指導の具体化の面から重要です。

各教科における実践例

導 入	1 学習意欲を高め、課題を明確につかむ。 「技術・家庭」『ホワイトシチュー』 ※ 調理実習を前に、手作りルーと市販のルーの比較を通して、手作りルーのよさに気づき、実践への意欲を高める場面 T : 2種類のシチューを食べ比べて、AのシチューとBのシチューで何が違いましたか？ S1 : ずいぶん味が違うな。Aは黄色でいつもの味で、Bは白っぽくておいしい。 T : 色ね。見た目が違うね。あとはありますか？ S2 : Aはとろみが少ないし、Bはパターンの味が粉っぽい。 T : とろみ。舌触りや風味に気が付いたね。あとは、バターね。食材の味がしたね。… T : ところで、どっちがおいしかったかな？おいしって感じたのは、どんな理由かな？ S3 : Aは、いつも食べてる味でおいしいし、Bは材料の味がしておいしいよ。それに、色も鮮やかで見た目もいい。 T : おいしいシチューは味・色・滑らかさが大切なんだね。なぜこのような違いが生じるのかな？ S4 : 材料が違うからじゃないかな。いや、作り方が違うのかな。 T : 今日は、ホワイトシチューの材料や作り方を調べ、味よく、色よく、滑らかでおいしいホワイトシチューの実習計画を立てましょう。
	2 課題解決の方法を考え、自分で解決する。 「小3社会」『ひとびとのくらしとわたしたちのくらし』 地域の人々の生産活動に見られる工夫を取り上げて、それぞれの仕事の特徴を調べる学習 ※ 「農家の仕事」で梨生産農家が「梨棚」を作るわけを考えさせる場面 P1 : 梨は重いからです。 T : P1さんがそう考えたのは、なぜですか？ P1 : 国語辞典に「梨のほとんどが水分」と書いてあったからです。 P2 : (つぶやき)でも、桃やりんごだって重いよね。 (つぶやきを聞き取った教師は) T : P2さん。棚の秘密について何か知っていることがあるのかな？ P2 : 夏休みに家族と桃狩りに行ったけど、桃畑には棚がありませんでした。りんごの木にも棚がなかったようです。 T : なるほど、では、梨にあるのは何か特別な理由があるんだね。みんなの手元にある資料にはヒントが隠れていないかな？ (資料をしばらく調べていたP3が) P3 : 先生、私の「梨の絵本」という本に、「梨は風に弱い」と書いてあります。風で枝が揺れると梨は落ちてしまうんじゃないでしょうか。
	3 友達との高め合いのもとに、課題をよりよく解決する。 「小4理科」『もののかさと力』 ※ 空気でつぼうの玉の前玉が飛ぶのは、前玉と後玉の間にある空気に関係するという見方から、空気の性質に目を向けさせる場面 (前玉が飛ぶことだけに目が向いている子どもたちに、「空気」に目を向けさせようとした教師は) T : なぜ、前玉が飛ぶのだろう？空気でつぼうの中の空気はどうなっているのかな？ P1 : ぎゅうぎゅうです。 P2 : ばんばんです。 T : 二人組でやっている班は、何か気づいたのかな？ P3 : 一人が後玉を押してもう一人が前玉を抑えていると、中の空気の感じがよくわかります。 T : なるほど、新しい方法を見つめましたね。みんなもやってみよう。 P1 : 空気がちぢんだ。(小さくなった。) P2 : 空気がちぢむと、押し返されるような感じがする。
	4 課題に沿って学習をまとめ、新たな課題への関心を高める。 「中1英語」『Unit11 Part2 (一般動詞の過去形)』 ※ 過去形の学習ポイントを振り返り、自己表現を促す場面 T : 今日の学習事項を使って、昨日や先週末の自分の生活について書けるかな？気をつけるところはどこかな？ S1 : I went to Taro's house last Sunday. T : そうだね。wentという動詞の形がポイントだね。パート1で学習したことを使っても何か書けるよね。 S2 : I watched a soccer game yesterday. T : なかなかいいね。動詞の変化の仕方が違うんだね。もし、変化の仕方がわからないときはどうすればいいかな？ S3 : 英和辞典に出てるかも。 T : では、教科書には過去形が出てきていないhelpやwriteを辞典で調べてみようか。

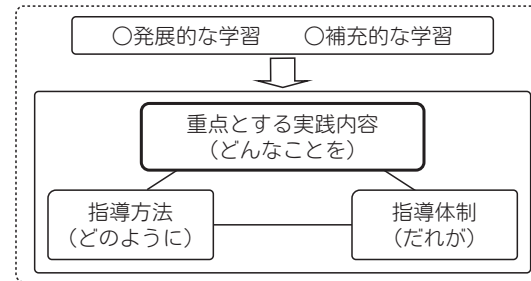
「発問」の工夫

- ① 課題にみちびく発問**
 子どもの興味関心・驚き・疑問などを生かし、本時の課題に端的に迫るための発問。教師の第一声を含め、発問の構想を立てることが大切。
 (例1) この話がおもしろい訳はどこにあるの？
 (例2) この資料で変だなと思うことはどこ？
- ② 考えを広げさせる発問**
 解決の見通しや方法について、具体的かつ多面的に思考させる発問。一つの発問を多くの子どもに関連付けていくことが有効である。
 (例1) A君の考えをもとに、さらにどんなことが考えられるかな？
 (例2) 他の解決方法はないだろうか？
- ③ 対立する考えと出会わせる発問**
 思考の行き詰まりを打破し、個や集団の思考力をともに高めるための発問。
 “切り返し”や“ゆさぶり”を生かすことが最も有効である。
 (例1) さっきまでの考えを、～から考えるとどうなるだろう？
 (例2) 全く違う～で考えてみよう
- ④ 考えを整理し、応用発展させる発問**
 学習内容を整理し、個々の学習の定着を意図した発問。子どもの学習意欲を持続させ、新たな課題挑戦へいざなう発問に心がける。
 (例1) このことから、どんなことが言えるかな？
 (例2) この考えは～の問題でもあてはまるかな？

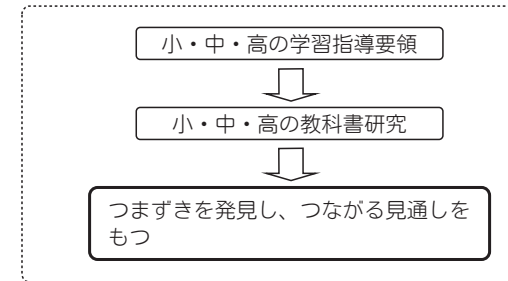
習熟の程度をふまえた指導の工夫

① 構想のポイント

- 学力向上グランドデザインに習熟の程度をふまえた実践内容を位置づける



- 単元における小・中・高の系統性を押さえる



② 「習熟を図る」場の設定

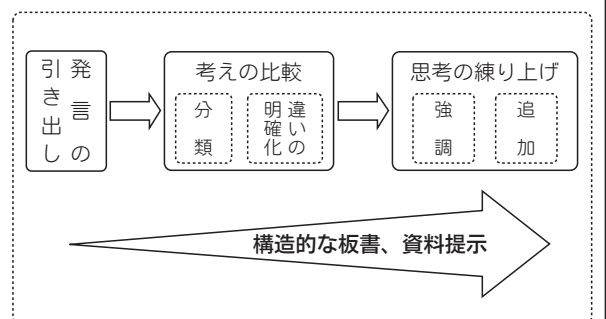
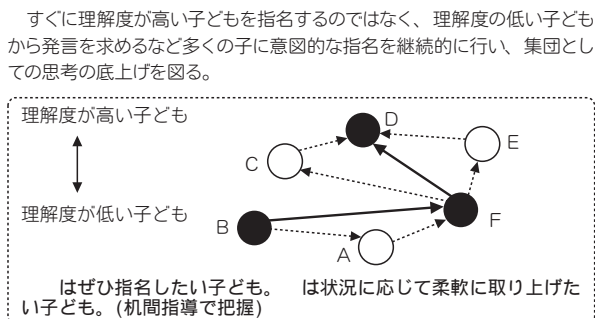
- 「ふかめる」学習
 理解度の高い子どもに対しては、自ら考え進んで学習できるように新たな課題の提示や課題の選択の場を与える。
 ○ 課題の数値等を換えて与え、問題を解く機会を増やす。
 ○ プリントによる学習で習熟を図る。
- 「繰り返し」学習
 理解度の低い子どもに対しては、確実な理解が図られるような課題を提示する。
 ○ プリントによる学習で、同一または類似の内容を繰り返し、学習内容の確実な定着を図る。

小学校6年算数『比の利用』
 T : 「学級旗を作ることになりました。たてと横の比を2 : 3として作ります。横の長さが42cmのとき、たての長さは何cmになりますか。」(全体に対する課題)
 <早く解けた子どもに対して>
 T : 「横を63cmにすると、たては何cmかな？」

- プリントを用いた学習での留意事項**
- ① 数種類のプリントを準備するなど、学習量に配慮する。
 - ② 類似内容や程度を高くした内容など、理解度に応じた難易度に配慮する。
 - ③ 同じ課題を選択した仲間と、教え合ったり採点し合ったりして、学び合う雰囲気づくりに配慮する。
 - ④ 正答の場合、温かく賞賛するとともに、教師も喜びを共有する。
 - ⑤ 技能等の習熟と同様に、意味理解を深めることも大切にする。

③ 「自他の考えを比較し高め合う」教師のかかわり

- 意図的指名
- 集団思考へのはたらきかけ



総務課

被扶養者の資格確認を

現在共済組合員の被扶養者になっている人が、次のいずれかに該当するときは、被扶養者としての資格要件を欠いていることになりますので、御確認ください。

- ① 被扶養者が就職し、健康保険等に加入したとき。
- ② 被扶養者について、組合員以外の方が扶養手当等を受けているとき。
- ③ 被扶養者の年金、事業所得等が、年額130万円以上あるとき。
- ④ 被扶養者の給与収入等が、月額108,334円以上あるとき。
- ⑤ 被扶養者と別居している場合、主として組合員の送金等により生計を維持していると認められないとき。

など

生涯学習課

～父と母の学びと育ち支援事業～

平成18年度 家庭教育支援フォローアップ研修

父と母の学びを支援するため、保護者に学習の機会を提供するとともに、教育関係者及び地域の家庭教育支援関係者等に対して、家庭教育に関する課題解決のための研修会を下記により開催します。

記

- 1 日時 平成18年11月19日(日) 午後1時
- 2 会場 梁川農村環境改善センター（梁川中央公民館）
- 3 内容
 - (1)講演「子育てと親支援 ～良い親子関係～」
講師：神戸信行氏（児童養護施設青葉学園長）
 - (2)分科会
 - ア「幼児期からの子どものかかわり」
講師：後藤ヨネ（学校教育相談員）
 - イ「元気の素は食事から」
講師：栞田祐子（県北教育事務所指導主事）
 - ウ「少年非行の現状と親のかかわり」
講師：坂内湯里子氏（伊達警察署専門少年警察補導員）
 - エ「親のための性教育」
講師：白鳥クニ子氏（ふくしま思春期サポーターの会代表）
- 4 参加申込み
11月8日(木)までに、市町村教育委員会に申し込んでください。問合せは、生涯学習課（024-521-7715）まで。

管理課

一人一人が自ら取り組む

不祥事防止対策へ

県北域内のある学校では、不祥事ゼロに向けて次のように取り組み、教職員一人一人の心に届く研修となった等の成果を上げています。ぜひ参考にし、自校の服務倫理委員会や研修を充実させましょう。

校内服務倫理委員会

- 企業や地方自治体の対策例を参考にした、自校における**対策の見直し**
- 「**不祥事防止に関するアンケート**」作成と有効な活用方法の検討
- 「**心の健康診断**」（チェックシートの自校化）作成と有効な活用方法の検討
- 不祥事防止のための「**校内研修**」の計画立案等
 - ・通知や資料等を自校にあてはめ、発生の原因・背景・問題点の探求
 - ・研修資料（事例、関連法令、ワークシート等で構成）の作成と有効な活用方法の検討
 - ・外部講師（学校医、スクールカウンセラー）の招聘
 - ・事故回避トレーニング、ディベート、ロールプレイング等、工夫した研修法の計画的な位置付け等

校内服務倫理全体協議会

- アンケートの実施
- チェックシートの活用
- 校内研修の実施等

学年協議会

- 研修内容の深化や当事者意識のさらなる高揚

インフォメーション



去る9月6日(水)、7日(木)に福島大学附属小学校を会場に、第2回小学校常勤講師研修会「授業参観研修」を開催しました。参加者は、附属

小学校の授業を参観し、集団思考を高める「発問」、「板書」を中心に協議を行いました。授業の具体的な場面を踏まえて、日頃の課題を熱心に話し合い、終了後は生き生きとした表情が数多く見られました。

電話相談に応じます。お気軽にどうぞ

～不登校やいじめ問題、特別支援教育等、学校教育に関するあらゆる相談に専門の相談員が懇切丁寧にお答えします～

電話回線が1つ増えて便利になりました。

フリーダイヤル 0120-899-711（フリーダイヤル以外の電話番号 024-521-7724）



古紙配合率100%再生紙を使用しています